



生老病死と身体



DATA

- **主な連携先・メンバー**
JBI日本バランシング協会代表 小原仁氏/ケアアエヌエ主宰・パースドゥーラ 大知早恵氏/自由人ネットワーク主催・朝日カルチャー講師 河野智聖氏
- **活動地域**
関西大学堺キャンパス
- **活動期間**
2019年度
- **活動資金**
堺市と関西大学との地域連携事業

活動の目的

人の一生の身体の変化と健康について、実践的なワークを通して、理論と思想とそれに基づいた具体的な技法を講座の参加者に提供する

連携にいたる経緯

人間の健康を考えるにあたって、老いと死の問題は避けることができず、そこには当然衰えていく身体が存在がある。それを身体論、身心相関論、さらには身心技法の観点から、体験的に考えていく機会を提供したいと考え、連携に至った。

活動内容

出産という生と性にまつわる女性の身体の変化と、そこに関わる男性の身体、そして老・病・死という老いていくプロセスにおける身体の変化に焦点を当て、人の一生の身体の変化と健康について、実践的なワークを通して、理論と思想とそれに基づいた具体的な技法を講座の参加者に提供することを目的として、全3回連続講座を行った。西洋由来の身体技法であるボディワーク、整体、操体等日本の身体技法、鍼灸、気功等東洋の身体技法といった、西洋医学的観点とは異なる古くて新しい視点を持つ専門家の中でも、特に出産や老いといった人の一生を問題関心としている人物を講師として招へいし、多角的な視点から講座を構成した。体験的な講座にすることにより、三人称的理論や思想を、生老病死という一人称の「自分事」として理解し、体感することを旨とし、受講者に理論としての生老病死ではなく、自分自身のプロセスとしての生老病死とそこに関わる身体についての新しい知見を提供した。



2019年度 堺市と関西大学との地域連携事業

連続3回講座

生老病死と身体

コーディネーター 小室 弘毅 関西大学 堺キャンパス
関西大学人間健康学部長 河野 智聖

第1回 11月16日(土) 講師 小原 仁
多目的室B 14:00-17:00

第2回 12月14日(土) 講師 大知 早恵
福祉実習教室 14:00-17:00

第3回 1月11日(土) 講師 河野 智聖
多目的室B 14:00-17:00

申込締切 11月1日(金)

参加費無料

対象 堺地区(定員30名)
先着多数の申込は、抽選となります。

お問い合わせ・お申込先

最新の申込フォームのとり方、はがき・メールにて、お申し込みください。

関西大学 堺キャンパス 事務局 地域連携担当「生活福祉」課 係
〒590-0192 堺市東区大馬場1-1-15
FAX: 073-229-5082 TEL: 073-229-5028 E-mail: kaku@hibiki.kansai-u.ac.jp

活動の成果

ワークをベースにすることにより、参加者は「生老病死」という抽象的な概念を自分自身の問題ととらえ、かつ自身の身体の変化と衰えというプロセスとして「生老病死」を理解することにより、流れとして「生老病死」を見る視点を獲得できた

今後の課題・目標

- 1 三人称的な理論や思想の提供を主とする他の公開講座と、一人称の体験を重視する本講座との違いを明確に示す必要がある
- 2 参加者のモチベーションが場の雰囲気や大きき影響を与えるため、参加者の参加意識を明確にしておく必要がある

教員紹介



■ 人間健康学部 准教授

小室 弘毅
Hiroki Komuro

専門は、教育人間学、教育方法学、教養論、身体論、ソマティック心理学など。身心未分の「からだ」を人間の学びと成長の要と捉え、ホリスティックな視点で「腑に落ちる」学びのあり方を探究している。ヨーガ歴20年、ヨーガ指導歴15年のキャリアも持つ。